原稿作成用フォーマット：タイトルは15pt，中央揃え

－サブタイトルは15pt，中央揃え－†

執　筆　者　名\*1　執　筆　者　名\*1　執　筆　者　名\*2

要旨は9 pt，行間は最小値2 ptとしてください．要旨の長さは600文字以内，要旨の始まる位置は前の著者名から7mm離し，文頭の字下げは2字，左右はページレイアウトで設定したマージンより左右のインデント5mm内側としてください．

キーワード: 文字は9 pt で，6語まで．

1. はじめに

この原稿作成用フォーマットはファイルにてご提供しております．ファイルに文字を上書きしますと，冊子スタイルにあった原稿が作成することが可能です．研究所のホームページからダウンロードあるいはご請求ください．他のアプリケーションをご使用される方でもご参照いただければファイルを作成することが可能です．

（１行空ける）

1. 原稿のマージンと文字数

マージンはページ設定で，余白：上22mm，下18mm，内側21mm，外側20mm，印刷ページ設定：見開きページとし，タイトルページ以外25字詰×52行の2段組（段組の間隔は3.23字）で設定してあります．Wordの初期設定で英単語の途中で切れる設定になっている場合，書式→段落→体裁ではずしてください．

（１行空ける）

1. 使用フォントと特殊文字等設定
	1. 漢字・かな・カタカナ

明朝体はMS明朝．ゴシック体はMSゴシック．全角を使用してください．

* 1. 英字・数字・特殊文字等

英数字はCentury．ギリシャ文字はSymbol．半角を使用してください．

* 1. 文字の間隔

日本語と英数字の文字間隔は自動調整にしてください．

* 1. 句読点等

† 原稿受理　0000年00月00日

\*1 労働安全衛生総合研究所新技術安全研究グループ.

\*2 令和大学工学部機械工学科

 連絡先：〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-4-6

 労働安全衛生総合研究所建設安全研究グループ　著者名\*1

 E-mail: editbd@s.jniosh.go.jp

句読点は「，（全角カンマ）」と「．（全角ピリオド）」を使用してください．言語のプロパティで設定できます．ただし，数量3桁カンマと小数点は半角です．

* 1. 文体

文語調「である．」「ている．」に統一してください．

（１行空ける）

1. 各文字列のスタイルと書式

スタイルと書式はファイルにR-タイトル，R-著者名，R-和文要旨，R-和文要旨，R-本文，R-脚注，R-文献といったようにR-○○でフォーマット設定されています．文字列を指摘し，書式→スタイルと書式で選択すれば，その文字列がそのスタイルになるようになっております．

* 1. ヘッダー

R-１頁め，R-奇数頁，R-偶数頁ヘッダーで書式が異なります．１頁目には，本誌名と巻号と頁と発行月と年号が9ptで原稿の種別が8ptで左寄せで入ります．ご投稿の際は，論文，短報，資料などの原稿の種別をご入力ください．巻号と頁と年号は，掲載が決まってから編集委員会より通知いたします．奇数頁には著者名，偶数頁にはタイトルが8ptの下線付き，中央揃えで入ります．タイトルが長い場合は，ランニングタイトルを入力してください．

* 1. タイトルページ上部

書式でフォーマットされていますので，文字を上書きしてください．主な仕様は以下の通りです．

* 1. タイトル　R-タイトルは15pt，中央揃えです．ランニングタイトルがない場合はその部分を削除してください．タイトルの最後には†(ダガー)をいれてください．これは脚注の原稿受理日に対応します．
		1. 著者名　R-著者名は11pt，右揃えです．名前の間隔は7字どりで，４字の場合は３字の空き，３字の場合は４字の空きとなります．たとえば，労働 安全なら，労　働　安　全，厚労 省なら，厚　労　　　省となります．それぞれの名前の脇には\*（アステリスク）を入れて，脚注に入る所属や連絡先と一致させるようにしてください．
	2. 脚注

R-脚注リストは7ptでタイトルページの下部に入ります．フォーマットファイルではタイトルの部分段落にロックして脚注のレイアウト枠を設定しております．†（ダガー）のあとには，和文と英文で原稿受理日を入力します．受理日は受理後にお知らせいたします．原稿受理に続いて年月日(西暦)を入れてください．\*（アステリスク）のあとには，著者名に対応した所属とその連絡先を入力して下さい．また，E-mailアドレス(代表者のものあるいは確実に連絡がつくもの)は改行して入力してください．

* 1. 和文要旨

R-和文要旨はページ設定したマージンより左右のインデント5mm（1.5字）内側に設定されております．文字の大きさ9pt，行間2ptで入力し，文頭の字下げは2字です．論文，総説，調査報告では600文字以内としてください．

* 1. キーワード

図1　図の例

和文要旨に続けて，R-和文キーワードで6語まで入れてください．「キーワード：」はR-和文キーワード見出し文字の書式設定を選んで，斜体＋MSゴシックにしてください．

* 1. 本文

R-本文は9pt，行送り14ptです．フォーマットファイルを使用しない場合は，2段とする文字を数行入力後，その部分を指摘して段組を設定します．設定は書式→段組で25字詰を設定，ページ設定で52行の2段組としてください．Wordでは１段から段組に変更する場合はセクションが変更となります．英文要旨との間は行間8ptあるいは2行空けてください．

* 1. 見出し

見出しの文字を入力後，R-見出しの書式を選択します．R-見出し1「**1**　・・・，**2**　・・・」で中央揃え，R-見出し2「**1)** 　・・・，**2)**　・・・」，R-見出し3「**(1)**　・・・，**(2)**　・・・」で左揃えで１字下げです．各見出しの数字の後は全角1字空けてください．R-見出し3以下は，１字空けてR-本文で本文をつづけて入れてください．

* 1. 参考文献

R-文献リストは8pt，ぶら下げ7.5mmで文末にリストを作成ください．出現順に文献の番号をつけ，引用されている本文中に任意の文献リスト番号の「)」（片右括弧）の上付きを入力します1)．引用の文献が複数ある場合は，「，」（2文献）2,3)や「-」（3文献以上）4-9)を使用して入力してください．文献リストの作成の様式については，下記の点にご注意いただき，文末の文献リストを上書きすると容易に作成できます．

1. 引用文献の書式等の詳細については下記を参照して下さい．http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform\_requirements.html
2. 著者が６名以下の場合は，全員の名前を入力ください．和文の文献は姓名と名前，英文の文献は姓が先に，名前のイニシャル＋ピリオドが後に入ります．
3. 投稿中の原稿は，リストには載せないこと．
4. 雑誌は，著者名．雑誌名（英語の場合は略．・立体）．発行年(西暦)；巻（太字）：引用始頁-引用終頁．の順で記載してください．

表1　表の例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | SI単位 | %\* |
| 流 量 | mL/s, m3/s | 50±3 |
| 速 　度 | m/s | 30±2 |
| 体 　積 | mL, L, m3 | 20±1 |

\*平均値±標準.

1. 単行本は，著者名．タイトル．編者名＋編．単行本タイトル．(英文の場合発行所所在地：) 発行所；発行年(西暦)：引用始頁-引用終頁（全体引用の場合はいれません）．
	1. 図・写真，表
		1. 図・写真の作成　図・写真とその説明は右コラムのオブジェクトをコピーして作成します．図を挿入したい場所にカーソルを合わせ，オブジェクトをコピーするか，挿入→図→新しい描画オブジェクトで，文章中に枠を作成します．点線内に「　」で囲まれた枠ができます．そこにマウスでクリックし，挿入→図→ファイルで画像ファイルを取り込んで下さい．

画像が見えない状態で取り込まれたら，画像をクリックして図のツールバーを表示し，テキストの折り返しで上下を選んでください．図の全体が表示されます．

図中の文字は7 pt以上で，罫の太さは0.2 pt以上にしてください．30％以下の網かけは印刷できません．写真は，スキャナやデジタルカメラでとったものを図と同じように取り込みます．

図・写真のタイトルは8ptで，上のオブジェクトをコピーした場合は，元のタイトルを消して，「図1 タイトル」を入れてください．描画オブジェクトで作成した場合，図の下をクリックして挿入→テキストボックスでテキストの枠ができますので，タイトルを入れてください．レイアウト枠を用いない場合は，図下を2～3 mmあけて（段落→段落前の数値で設定ができます），タイトルをつけてください．

* 1. 表の作成

表は文中ではなく，挿入→テキストボックスで上下にまとめて入れるようにしてください．作成したテキストボックスの中に罫線→表のオートフォーマット→R-表で下記のように作成してください．表内の文字は8ptでR-表内文字の書式設定を選んでください．表の左右の幅は75 mmまたは165 mmが便利です．

表のタイトルは8ptで「表1 タイトル」，表下に8ptで「凡例，注」を入れてください．文字の設定はR-表内文字の書式設定を選ぶと設定できます。

（１行空ける）

1. 単　　　　　位

単位はSI単位を用いて表記してください．

（１行空ける）

1. 数　　　　　式

挿入→オブジェクト→Microsoft 数式を選択して作成してください．サイズ定義は標準が9 ptでスタイル定義は変数がイタリック体，ベクトルがイタリック体・太字です．下に示す式をクリックするとスタイルやサイズは設定されています．式番号（1）（2）・・・は式の後につけてください．式の上下が切れてしまう場合は式の上下が一行ずつあけるか，書式→段落の段落前・後を自動に

するか，数値を変えて調整ください．

　　（1）

(一行空ける．）

1. 二段組をそろえる

参考文献まで作成したら，その頁の二段組の最終行をそろえて文章を終わらせてください．（具体的には，参考文献の文末に改行を一つ入れ，その改行マークをマウスで選択して（改行マークの表示は表示→段落記号です），ファイル→ページ設定→その他でセクションの開始位置を「現在の位置から開始」とし，プレビュー設定対象を「選択している文字列」としてOKとすると，並行になります．

(一行空ける．）

参　考　文　献

1. Goodfellow HD, Graydon WF. Photochromatic system of an acid-sensing porpyyrin. Can. J. Chem. Eng. 1998; 46: 120-125.
2. 山田太郎．職場での浮遊粉じんとその人体への影響．産業衛生学会雑誌. 1994; 18: 15-20.
3. Abend S, Keywell C. Integrating clinical trial data into practice. Headache. 2002; 42 Suppl 2: S88-94.
4. Schmitt G. Determination of principal stress fields from ultrasonic deflection patterns. Proceedings of 1st Symposium on Ultrasonic Inspection, Tokyo (1980), Jpn. J. Appl. Phys. 1981; 20 Suppl. 10: 161-166.
5. 松島美雪，中低層様建築物の防震対策の一手法．建築学会構造系講演論文集'96. 1996：51-52．
6. 森川国靖．繊維製造プロセスと環境対策．繊維学会編．合成繊維便覧．丸善；2003: 394-396
7. Happer WR. Contact and Frictional Electrification. London: Oxford; 1967: 163-165.
8. 山田一郎，海野次郎．塑性力学．コロナ社; 1995．
9. 山田二郎．蒸気ボイラ. 特公 H08-100100.1996.
10. White AG. Production method of thermal conductive catalyst. U.S. Patent No.123456780. 1988.

(一行空ける．）

1. 英文部分

総説，原著論文，事例報告，短報，調査報告では，以下の英文が必要です．それ以外では，英文は不要です．

* + 1. 英タイトル　R-英タイトルは13pt，中央揃えです．接続詞・冠詞以外は単語の文頭の文字を大文字にしてください．サブタイトルがない場合はその部分を削除してください．タイトルの最後には†(ダガー)をいれてください．これは脚注の原稿受理日に対応します．下記の英著者名の間にbyを入れてください．行間は4ptぐらい空けてください．
		2. 英著者名　R-英著者名は11pt，中央揃えです．名前，姓の順とし，姓は文頭以外を小型英大文字にしてください．Wordのフォントの文字飾りにありますが，小文字から選択しないと変換ができませんので，ご注意ください．アプリケーションで変換できない場合は，大文字で9ptに指定してください．最後にそれぞれの名前の脇には\*（アステリスク）を入れて，脚注に入る所属や連絡先と一致させるようにしてください．最後の著者名とその前の著者名の間はandをいれてください．
		3. 脚注　R-脚注リストは7ptでタイトルページの下部に入ります．フォーマットファイルではタイトルの部分段落にロックして脚注のレイアウト枠を設定しております．\*（アステリスク）のあとには，著者名に対応した英文の所属を入力してください．
		4. 英文要旨　R-英文要旨はページ設定したマージンより左右のインデント5mm（1.5字）内側に設定されております．文字の大きさ9pt，行間2ptで入力し，文頭の字下げは2字です．論文，総説，調査報告では200語以内，短報では100語以内としてください．
		5. Key Words　英文要旨に続けて，R-英文キーワードで6語まで入れてください．「Key Words：」は英文-和文キーワード見出し文字の書式設定を選んで，斜体＋太字にしてください．

（１行空ける）

1. 原稿の提出方法

投稿する場合は，原稿はA4に高品位（600dpi）以上でPDFに変換して投稿票とともにメールで提出してください．なお，PDF化するときに図がずれたり，表がずれたりすることもありますので，PDFに変換した後は確認してください．

投稿先は，josh08@s.jniosh.johas.go.jpです．

Title 13 pt Centering

－Subtitle 13 pt Centering－

by

Author Name\*1, Author Name\*1 and 名は大文字＋小文字 姓は大文字＋小型英大文字\*2

Abstract in 9 pt font. Please check by a native speaker of English before submission, in possible. 英文要旨は9pt，行間は最小値2ptとする．要旨の始まる位置は前の英文の著者名から7mm離し，文頭の字下げは2字，左右はページレイアウトで設定したマージンより左右のインデント5mm内側にする．

投稿する前にNative Speakerに確認してもらうことが望ましい．要旨の長さは200語以内．

Key Words:　 in 9 pt font, up to 6 key words, 9ptで6語まで．

\*1 Office 下記の例を参考に記して下さい.

\*2 Construction Safety Research Group, National Institute of Occupational Safety and Health

\*3 Faculty of Engineering, Heisei University

　　注：上記英文部分は，総説，原著論文，事例報告，短報，調査報告以外では不要です．